



東京園芸ニュース (28年度-80号)

平成29年1月 / 群馬県東京園芸情報センター

おもしろ雑貨や食品などを扱った期間限定ショップ 群馬県の農産物や雑貨を渋谷ヒカリエで販売！

IDOBATA (期間限定ショップ)

- 販売期間：2016年12月26日(月)～2017年1月31日(火)
- 場所：渋谷ヒカリエ(5階：マーケットプレイス)
- 運営会社：(株)HOW
- 内容：農産物、加工品や雑貨の販売

■本県出身の社長がセレクトしたこだわり商品を販売！

本県産農産物や加工品、雑貨を取り扱う期間限定ショップが東京都渋谷区にオープンしましたので紹介します。今回、期間限定(H28.12.26～H29.1.31)で渋谷ヒカリエに出店したのは、バッグや雑貨、食品などをセレクトしたライフスタイルショップである「IDOBATA(イドバタ)」で、本県出身の社長自らがセレクトしたこだわりの商品が販売されていました。

「IDOBATA」の店名の由来は「井戸端会議」で、老若男女が集まって話をしながら楽しめる場所、さまざまな情報を発信できる場所を目指して名付けられたそうです。

■「はたちのコシヒカリ」や「カタクリクッキー」等をPR！

今回、4業者1校の特徴ある本県産の商品が取り扱われていました。中央農業グリーン専門学校(前橋市)の「はたちのコシヒカリ」は、二十歳を迎える専門学校生が無農薬で栽培したもので、田植えから稲刈りまで手作業で行い、刈りとった稲は天日で干すというこだわりようです。

なんもく村のちょっとしたcafe(南牧村)の「カタクリクッキー」は東京出身のパティシエオーナーが南牧村六車地区のカタクリ群生地にて「カタクリの一生」について教えてもらったお話がモチーフになっているとのことでした。

また、創業百年を超える吉田だるま店(高崎市)からは伝統的なだるまの他に干支ダルマやカラーダルマ等が、昭和52年創業の榊翁(藤岡市)からは招福こんぺいとうやパンダのチョコレートボール等の色鮮やかな駄菓子が、昔ながらの活版印刷を続けている(有)広栄社印刷所(高崎市)からは、だるま活版ポストカードや活版印刷だるまコースターが販売されていました。



中央農業グリーン専門学校：「はたちのコシヒカリ」



(有)広栄社印刷：だるま活版ポストカード等



なんもく村のちょっとしたcafe：カタクリクッキー



(株)翁：駄菓子



吉田だるま店：カラーだるま等